

# 遠賀

おんが  
議会だより

2013  
8月号  
vol.129



## 6月定例会

- 契約・条例制定・条例改正・補正予算など ..... 2
- 臨時会・ようこそ遠賀町へ ..... 4
- 一般質問 ..... 5
- 認知症サポーター養成講座・おんがレガッタ ..... 12

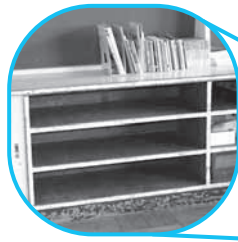
水泳の授業風景  
(浅木小学校3年生)

6月27日

# 大規模改造実施



島門小学校



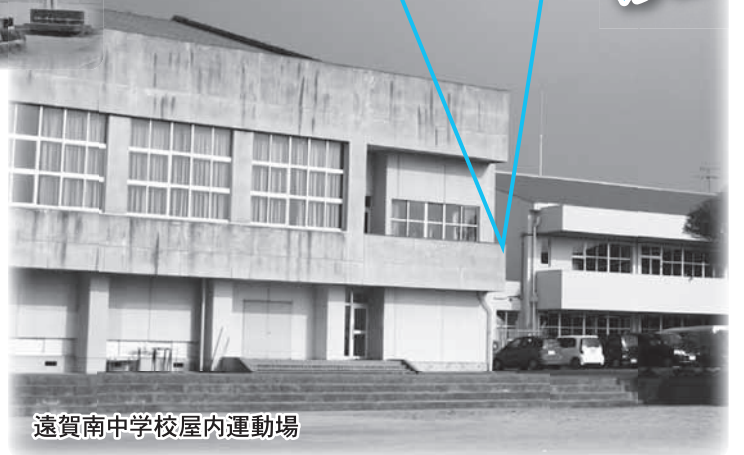
ランドセルが入らない  
教室内のロッカー



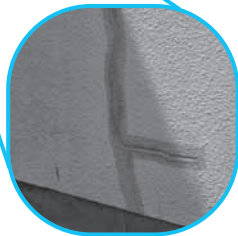
浅木小学校



外壁がはがれ、  
さびた内部の鉄心



遠賀南中学校屋内運動場



校舎外壁に入った  
クラック（ひび割れ）



## 6月 定例会

6月定例会は、6月7日から20日までの14日間開催された。  
議案は、平成25年度補正予算や条例の一部改正など14件が上程され、慎重審議を行った。

### 契約

(万円未満四捨五入)

結するもの。

島門小学校施設改修工事  
申請負契約の締結

(全員一致可決)

指名競争入札の結果、  
上田建設工業㈱と66  
76万円です工事請負契  
約を締結するもの。

【工期】  
9月20日まで

【工事内容】

- ① 校舎外壁塗装
- ② 校舎内部塗装
- ③ 教室や廊下の床改修
- ④ 教室内部児童用ロッカー改修など

【工事内容】

- ① 校舎外壁塗装
- ② 校舎内部塗装
- ③ 教室や廊下の床改修
- ④ 教室内部児童用ロッカー改修など

【工期】  
9月20日まで

遠賀南中学校施設改修  
工事請負契約の締結

(全員一致可決)

指名競争入札の結果、  
心添建設と5947万  
円で工事請負契約を締  
結するもの。

【工事内容】

浅木小学校施設改修工  
事請負契約の締結

(全員一致可決)

指名競争入札の結果、  
㈱福山組と5985万  
円で工事請負契約を締

屋内運動場の

- ① 屋根防水
- ② 外壁改修
- ③ 床改修など

【工期】  
9月20日まで

## 条例制定

・町長の給与の特例に関する条例

・副町長及び教育長の給与の特例に関する条例

条例

・一般職職員の給与の臨時特例に関する条例

7月1日から在任期間中（平成26年12月11日まで）、副町長・教育長と一般職職員は、7月1日から平成26年3月31日まで。

なお、この削減措置による予算削減額は、2522万円。

駅前サービスセンター設置条例

（賛成多数可決）

町長・副町長・教育

長は、給料月額と期末

手当の8%を減額。ま

た、一般職職員は、職

務の級に応じて給料月

額の4・77%または7・

77%を減額するもの。

減額期間は、町長が

## 平成25年度一般会計補正予算

1億48万円増額

（万円未満四捨五入）

（全員一致可決）

第1回目の補正予算

は、1億48万円増額し、

予算規模は66億113

3万円になりました。

今回の補正予算で、

計上された主な事業は次のとおりです。



整備された庁舎駐車場

漕艇場用備品購入費

624万円

カーボン艇5艇を購入するもの。

地域コミュニティ活動用備品購入費

242万円

地域のコミュニティ活動を活性化させるため、貸し出し用の備品

（テント、ポータブルランプ、かき氷機など）を購入するもの。

武道場駐車場と図書館への歩道整備事業費

2992万円

武道場駐車場を27台分に拡張整備し、図書館に通じる歩行者専用道路を整備するもの。

経営体育成支援事業補助金

172万円

規定以上の農地面積規模の経営体が、機械

を購入する場合などに支援するもの。

## 陳情

備するもの。

・国道3線（下り車線）今古賀交差点の高架化について

・国道3号線（下り）今古賀交差点の高架化促進について

（全員一致採択）

「朝夕の交通渋滞が、住民生活に支障をきたしている。その解消のため交差点の高架化を望む」という陳情が、

区長会・商工会から提出された。

## 条例改正

遠賀総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正

（賛成多数可決）

遠賀総合運動公園の管理運営に関し、平成26年度から指定管理者制度を導入する予定のため、指定管理者に管理を行わせることができるように規定を加えるもの。



遠賀総合運動公園

街灯改修整備事業費

1200万円

駅前商店街の街灯を改修整備するもの。

庁舎駐車場の点字ブロック設置やアスファルトの維持補修を行うもの。

480万円

路面改修工事請負費

600万円

水利施設管理費

600万円

神田川浚渫しゅんせつ工事を行うもの。

経営体育成支援事業補助金

172万円

規定以上の農地面積規模の経営体が、機械

を購入する場合などに支援するもの。

整備事業費

268万円

旧遠賀信用金庫遠賀川支店跡地を駅前サービスセンターとして整



早期の高架化が望まれる今古賀交差点

**4月臨時会**  
4月11日開催

遠賀川駅自由通路設置に伴う実施協定の締結  
(全員一致可決)

平成25年度分工事を実施するため、JRと2億4867万円(万円未満四捨五入)で協定を締結するもの。  
今年度が最終工事で、自由通路の舗装および南北にエレベーターを設置する。

**5月臨時会**  
5月9日開催

常任委員会と議会運営委員会の委員の選任を行った。

**第一常任委員会**

- 委員長 古野 修 ①  
副委員長 萩本 悦子 ②  
委員 萩岡 峯達 ③  
平見 光司 ④



**第二常任委員会**

- 委員長 三原 光広 ⑧  
副委員長 仲野 新三郎 ⑨  
委員 堅田 繁 ⑩  
萩尾 修身 ⑪  
加藤 陽一郎 ⑫



**議会運営委員会**

- 委員長 堅田 繁 ⑬  
副委員長 萩本 悦子 ⑭  
委員 加藤 陽一郎  
三原 光広  
古野 修  
舛添 清美

**賛否が分かれた議案** (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
会議名	議案名	議員名	浜岡	萩本	織田	二村	仲野	平見	加藤	中野	萩尾	三原	古野	堅田	舛添	奥村
6月定例会	遠賀総合運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	(議長)
	遠賀町長の給与の特例に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
	遠賀町副町長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	
	遠賀町一般職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	

※全員一致の議案は除く。



～ようこそ 遠賀町へ～  
**芦屋町議会広報常任委員会**  
5月13日

議会広報の編集発行について芦屋町議会議員が、研修のため来庁されました。  
芦屋町議会では、これまで事務局職員で記事の編集発行をしてきたが、このたび、議会広報常任委員会を新設し、議員自らの手で全ての記事を編集し発行することから、遠賀町広報委員会の広報誌作りを参考にしたいとの

ことでした。  
まず、本町の議会広報誌作りの概要を説明し、その後、芦屋町広報委員から質疑を受けました。質疑の内容は、議会だよりのレイアウト、編集の役割分担、表紙、議案内容、議決結果など掲載内容をどのように構成し取りまとめているか、また一般質問の原稿依頼についての文字数、写真、データなど多岐にわたりました。

まだまだ本町の議会だよりも満足のいく紙面作りではありませんが、これまでの経験を踏まえて、少しでも芦屋町の議会広報誌作りの一助になればと思います。



はぎもと えつこ  
萩本 悦子

Q

がん検診について個別検診を導入する考えはあるか

A

来年度から実施するよう、医師会と検討しているところだ



健康で長生きするために  
健康診査を受けましょう

特定健診受診率向上の取り組み

**議員** 本町の特定健診受診率は国の目標を大きく下回っている。受診率を向上させるためにどのような取り組みを行っているのか。

**住民課長** 今年度から、病院での個別検診についても集団検診と同じように、500円で受診できるようにした。

また、土曜・日曜日に行っている集団検診を昨年度から3回に増やしたが、本年度もこれを継続していく。

**議員** 受診率の低い40歳台の健診受診率を上げることが大きな課題だと考える。

40歳になったから、すぐに健診を...というのではなく、近隣の町が行っているように40歳前からの健診が有効だと考えるが、どのよ

うに考えるか。

**町長** 確かに本町においては、40歳台の受診率は非常に低い。

早い時期からの健診が、特定健診受診の動機付けになるのであれば参考にすべきと考え

がん検診受診率向上の取り組み

**議員** 本町のがん検診受診率は、ほぼ国の平均となっているが、ただ、胃がんの受診率は国の30%台に比べ、本町の受診率は16・6%と極めて低い。

この原因についてどのように考えるか。

**町長** データをみると確かに低い。「バリウムやローリング(体位変換)が嫌」という方もいるが、ただそれだけで胃がんの受診率が極端に低いとは思われない。しっかり確認した

い。

**議員** バリウムやローリングの検査は、本町に限ったことではない。原因をしっかりと究明し、対策を講じるべきだ。

また、町長は、昨年の12月議会での私の一般質問に対し、「がん検診の受診率を上げるために、近隣の市町が行っている個別検診についてもしっかりと検証していきたい」と答弁された。現在どのような検証が行われ、見通しはどうかのをお尋ねする。

**福祉課長** 現在、平成26年度から医師会が指定する医療機関で受けられるよう検討している。

※この他にも、

「子育て支援拠点『ぐっぴい』の現状」について質問しました。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



## 太陽光発電導入にあわせ学校へエアコン設置すべきだ



おだ たかのり  
織田 隆徳



今後も引き続き十分検討したい



待たれる学校のエアコン導入

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。

### 太陽光発電の導入計画は

**議員** 公共施設の太陽光発電システム導入は、どのような計画で行うのか。

**町長** 実施施設は、役場庁舎・コミュニティセンター・ふれあいの里・各小中学校の8施設だ、財源の確保を含め5カ年の事業計画で検討する。

### 学校へのエアコン設置を

**議員** 学校への太陽光発電システム導入にあわせて、エアコンを設置する考えはないか。

**町長** もう一度十分検討をしたい。

### 橋梁の補修工事に要する経費は

**議員** 本町が管理する橋梁は256橋あり、そのうち補修や補強が

必要なものは108橋との結果が示されている。橋梁の補修と補強対策工事に要する経費は、いくら必要なのか。また、どのような計画で実施されるのか。

**町長** 今後10年間の事業費としては、3億4700万円を想定している。緊急性の高い橋梁を優先的に実施する。

### 町の特産品を贈る考えはないか

**議員** 地方自治体に対して寄附をすると住民税や所得税から控除される「ふるさと納税制度」の過去5年間の実績を尋ねる。

また、寄附金の増額対策および寄附のお礼と特産品のPRを兼ねて、ある一定額以上の寄附者に本町の特産品を届ける考えはないか。

**町長** 平成20年度4件24万円、21年度10件1

### 「コミュニティ・スクール」導入は

**議員** 近年、学校が抱える問題が複雑、多様化するなか、学校運営に地域住民が関わって一緒に子どもを育てていこうという動きが強まっている。その核となるのが「コミュニティ・スクール」制度だ。本町も各学校に導入する考えはないか。

**教育長** 「コミュニティ・スクール」制度を導入する考えは今のところない。

**議員** 導入校は増え続けています。本町にも導入を要請する。



なかの しょうざぶろう  
**仲野 新三郎**



## 定住促進施策をどのように考えているか



現在行っている施策をしっかりとやっていく



遠賀町の人口推移

子育て世帯へのサービスは

**議員** 我が国の人口は年々減少しており、特に生産年齢人口の減少により様々な問題が懸念されている。本町において少子高齢化の進行に伴い生産年齢人口が減少しており、将来人口減少がより一層加速すると考えられる。町が行った住民意識調査でも若い世代の定住志向が低い結果となっているが、若い子育て世帯の定住を促すためにも子育て環境の充実を図るべきだ。

**町長** 幼保の施設の補助や運営、乳幼児医療の拡大、子育て支援施設と十分やっている。

**議員** 今やっている施策も含めて拡大できる部分に関しては拡大し、若い世帯や子育て世帯に手厚い支援をすべき

だ。また、Uターン希望者に対しての就業支援や住宅支援を行政が積極的に支援すべきであるし、町内の事業所の雇用状況や空き部屋等の情報をホームページやソーシャルネットワークを活用して発信していくべきだ。

**町長** 情報発信は大事なことだが、まず雇用が生まれる体制を町でしっかりとつくる。そのためにもまず農工商の雇用状況を把握していかなければならない。

**住宅補助金制度を導入する考えは**

**議員** 全国でも定住促進施策として町内に新たに住宅を購入した人や新築した人に対して補助金を出すなどの助成制度を導入している自治体が数多くあるが本町でも住宅を購入した人や新築した人に対しての補助金制度を導入する考えはないか。

**町長** 住宅購入についての補助金制度はいまはまだ議論の必要がある。現在取り組んでいる子育て支援なり教育の部分も含めて若い世代の人たちが子どもをここで産み、育てる環境づくりも定住促進の一環だと思っているのだから、今の施策をしっかりとやっていく。

**議員** 基金の充当も含めて、まちづくりの環境として考えれば地域振興にもつながり十分な価値があると思うが。

**町長** 十分に精査し慎重に考えていきたい。

(注) 生産年齢人口  
人口統計で、生産活動の中心となる15歳以上65歳未満の人口。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。



## 自主財源確保のため、自治体ビジネスを行う考えは



具体策は持ち合わせてないが、これからの検討課題と認識している



かとう よういちろう  
加藤 陽一郎



農地に設置された  
太陽光パネル

### 自主財源の確保は

**議員** 平成26年度からは、地方交付税の配分の仕組みが改められ、人件費の削減率のほか、自治体内の製品出荷・農業産出額などの伸び率も考慮される。

本町も努力を怠れば、地方交付税の減額になることも考えられるが、税収以外の自主財源確保は、どう考えているか。

**町長** 税収以外の自主財源については、費目として繰入金、分担金及び負担金、繰越金、諸収入、使用料、手数料、財産収入、寄附金がある。それぞれの自主財源の費目について鋭意努力している。

### メガソーラー発電を建設する考えは

**議員** 耕作放棄地や駅

南地区を利用したメガソーラー発電を建設する考えはないか。

**町長** 耕作放棄地も農地法において、農業以外に使用することは知事の転用許可が必要だが、太陽光発電設備等については、転用許可の対象とする動きがみられる。

町が建設する場合、土地を借り上げる必要があり、事業の採算性が難しいと考える。ただし耕作放棄地対策や駅南地区の今後の状況にもよるが、土地の有効活用からいえば、まとまった土地について、地権者等から相談があれば、条件によっては検討する余地はあると考えている。

**議員** 農地を借地しても、十分採算がとれるし、耕作放棄地も解消でき、発電によって収入も得られ、一石二鳥

と考え提案している。農地法も、クリアできると考える。

### 民間と連携したビジネス参入は

**議員** 民間と連携したビジネス参入について、どう考えているか。

**町長** 基本的に、地方公共団体が自前で公共サービスを担わなければならない責務を除き、質的に民間に委ねられる部分や連携できる部分は活用を図るべきと考える。

現在のところ具体策は持ち合わせていない。自治体ビジネスを広い意味でソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの分野まで拡大した場合、他の自治体で取り組み事例があるので、これからの検討課題と認識している。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。





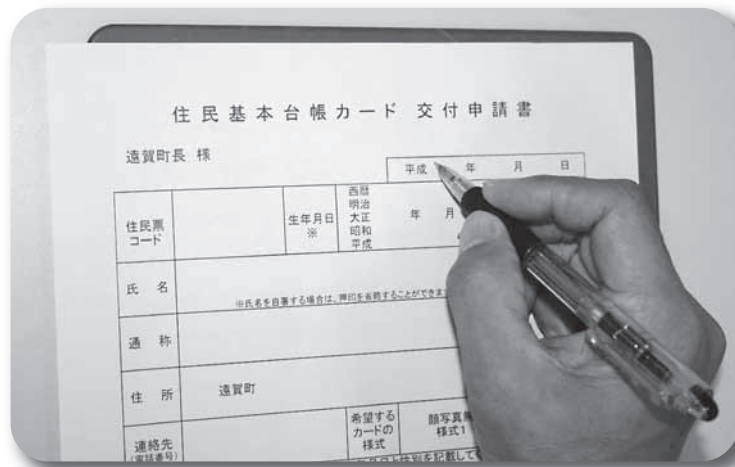
かた だ しげる  
**堅田 繁**



## 運転免許証自主返納者に住基カードの無料交付を



高齢運転者の悲惨な交通事故を減らすため住民の生命を守る立場から実施する



5000円の手数料を無料に

**自主返納者に対しサポートの充実を**

**議員** 高齢運転者がアクセルとブレーキを踏み違えて、悲惨な事故を起こすケースが最近特に目立つ。自主返納者には身分証明書代わりとなる住民基本台帳カード（以後は住基カード）の申請手数料を無料にするべきだ。

**町長** 身分証明書としてであれば公安委員会が発行する運転経歴証明書もその機能はある。しかし、住基カードの方が、使い勝手がいいと考える。高齢運転者が関係する悲惨な事故を減らすため、また、住民の生命・財産を守る立場から、申請手数料5000円を無料にしたい。

**議員** 高齢運転者の思わぬ交通事故が減少する

ことを願う。速やかに実施するべきだ。

**デマンド交通網の構築は**

**議員** 自主返納者に移動手段の確保として、タクシー事業者と連携してデマンド交通網を構築するべきだ。

**町長** タクシーやコミュニティバス利用券の補助が考えられるが駅を中心とした南北の移動路線によって、町内のほぼ全域をカバーできている。利用者の予約方式によるデマンド交通網は適さないと判断している。しかし、高齢者社会に備えて、さらなる充実策は検討の余地がある。

**議員** 町内を移動する交通手段としてコミュニティバスを中心にしても、交通空白地帯は存在する。それをカバーする手段として、少

人数乗りのワゴンタクシーを走らせるべきだ。

**町長** 平成27年の春に駅南の道路が供用開始の予定だ。それにあわせて交通網の構築も具体的な検討に入っている。こうと現段階では考えている。

**議員** 住基カードを提示した自主返納者にはタクシー事業者と連携して、運賃割引などのサービスを打診してみている。

**町長** 公共交通活性化協議会の中でタクシー利用券の問題も提起している。当然運賃割引の協力も求めている。

(注) デマンド交通網

路線バスと比べて、時間とルートを乗客の需要に応じて柔軟に変更させることができる、利便性の高い交通網のこと。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。

一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。



## 具体的な建て替えの実施時期は計画されていないのか



はま おか みね さと  
浜岡 峯達



過去に重要なところを補修・改修をやっているが、建て替えの計画は持っている



建て替えの時期はいつ？

### 耐用年度を経過した町住の今後は

**議員** 今のところ建て替えの時期は具体的に計画されていないのか

**町長** 時期は明確にしているが、建て替えの計画には入っていないが、建て替えて替える明記されているが、資金の裏付けはあるのか。

**町長** 30戸の建て替え計画は、財政計画とあわせて、入居者との状況を含めて計画を立てていきたい。

**議員** 建て替えについて入居者との合意形成を得ながらということだが、入居者から相談や要望はどのようになっているか。

**建設課長** 町営住宅長寿命化計画策定前のアンケートでは、いろいろと意見、要望があったが今はそのようなこと

はない。

**議員** 入居者からの相談がないということは、それなりに満足されていると理解した。逆の発想で人口減少が進む中で、建て替えの必要があるのか、町長の考えを聞きたい。

**町長** 公営住宅は、基本的には憲法で定められた公的な住居は必要ということ、人口の推移によって減らすものでなく、当然定住政策を含めて、人口が減らないように努力していかなければならず、今の住宅ストックは、しっかりと守って行かねばならないと思う。

**議員** 4団地（島津・道官・木守・別府）の耐震診断がされていないとの記載があるが、耐震診断はいつごろ実施されるのか。

**建設課長** 平成12年から14年にかけて、屋根瓦

のふきかえ、外壁もクラックの補修等を行い、構造的に耐震性も増したと判断している。

### 町有地の有効活用は

**議員** 緑ヶ丘改良住宅跡地を用途変更して、別の方向で使用できないのか。

**町長** 町の地域防災計画との関係で、応急的な仮設住宅の用地として確保していること、管理している。

**議員** 町有地の有効活用として、空地にメガソーラをしてはどうか

**町長** 今からそういうメガソーラも一つの手法だと思うが、日照関係の問題もあると考えている。

**議員** 町長が常々言われている「住みやすい町、住みたくなる町」に取り組みべきだ。

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onaga.lg.jp/>)で公開します。



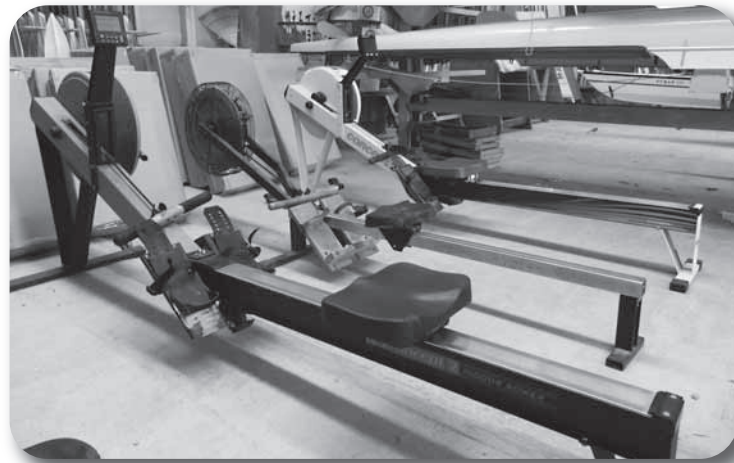
はぎ お 萩尾 修身

Q

町をアピールするためにできるところから実行すべき

A

漕艇協会を再構築してレガッタ競技を町内外にアピールしていく



艇庫に常設してあるエルゴメーター

漕艇協会はできつつあるのか

**議員** 3月議会でおんがレガッタについていろんな構想、熱い思いを語られた。その一つ、町漕艇協会の再構築は進んでいるのか。

**町長** インターハイが終わったら私が呼び掛けをして、再構築の足固めをやっていきたい。

**議員** 協会の会長に自分になるぐらいの気持ちで、ということを言われたが今もその気持ちは変わらないか。

**町長** 私が率先して、町の漕艇協会を再構築させていたかどうかという、強い気持ちを持っている。

レガッタを気軽に親しめる手段は

**議員** 5月の町民レガッタでは町民の皆さんの参加が少ないと感じ

た。皆さんに関心を持ってもらう手段として、8月のインターハイのときに町民の皆さんを運ぶシャトルバスや、各区に勝手連的な応援要請をする考えは。

**町長** 区長会を通じて応援要請をしている。一人でも多くの方に来ていただくよう、呼び掛けたり努力している。

また、観客のために総合運動公園と現地を結ぶシャトルバスの運行も決めている。

**議員** 体力トレーニングの一環として使えるようにエルゴメーターを中学の体育館や体育センターのトレーニング室に配置できないか。

**町長** 町民の皆さんにしっかりと漕艇を体験してもらうためにも、検討していきたい。

町が行っている英語教育は

**議員** 小学校から英語活動が行われていることよって、中学でそれが学力アップにつながっているか。

**教育長** A・L・Tの活用や小中連携の成果にて全国学力テストでも上位の成績だ。やっていることには間違いはないと捉えている。

**議員** 高校入試で行われているリスニングテストの対策は。

**教育長** 当然、中間・期末にリスニングテストは取り入れている。

**議員** 今年度から高校の英語の授業は英語で行われている。話す、聞く、コミュニケーションが取れるというレベルが今、求められている。社会に出てある程度話せる能力がつくような基礎を作るべきだ。

(注) A・L・T

外国語の指導助手

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.ongak.jp/>)で公開します。

「認知症でも安心して暮らせるまち」にしたい  
「認知症サポーター養成講座」受講

4月11日



認知症の正しい知識を

私たちが一般的に呼んでいる「認知症」は病名ではなく、多くの病気が関係して起こる症状をまとめて「認知症」という言葉で表します。

厚生労働省の調査では、認知症の人は平成24年時点で462万人にのぼり、「予備軍」も400万人いるとのことです。

認知症の人は、「自分でできることは自分でしたい。でも、できないことは助けてほしい」と思っています。

そのためにも家族や地域の人たちは、適度なお世話を心掛けることが大切ということです。

認知症は、治療で良くなったり、進行を遅らせることができるので、早い時期に医師の診察を受けることが、その後を大きく左右すると言われています。

この講座を受けて、私たちが「認知症」について「いかにたくさん誤解をしていたか」「地域で認知症の方やその家族を支えることの必要性」を痛感しました。

力を合わせてキャッチ&ロー  
おんがレガッタに参加

5月25日



全力で漕ぎ切りました

遠賀川漕艇場で開催された第15回おんがレガッタのオープン部では、本町議会の2チームをはじめ、郡内の町長会チーム・各町議会チーム、また熊本県菊池市議会チームも参加しました。

今年から艇がカーボンに変わり、また、強風のためコースにつけることもままならない状態でしたが、各チーム一体となって全力で漕ぎ切りました。



菊池市議会チームと和気あいあい

テントの中で行われた情報交換は、和気あいあいの雰囲気。このようなかたちで、郡内の全議会チームが参加するのは、今年で4年目になります。今では郡内議会の恒例行事となり、大会を盛り上げていただき、感謝の一言です。

今後も郡内議員の連携を深め、各町の行事に参加できればと思います。

9月です

次回の定例会は

お気軽に傍聴にお越しください。

詳しい日程は8月下旬に遠賀町ホームページ  
(<http://www.town.onga.lg.jp/>)でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター

遠賀議会だより

発行責任者

議長 奥村 守

広報調査

特別委員会

委員長

萩本 悦子

副委員長

平見 光司

委員

織田 隆徳

仲野 新三郎

加藤 陽一郎

萩尾 修身

編集後記

今年も夏の電力不足により7月1日から節電期間に入り、会社や家庭でも節電が実施され、皆さんも暑い夏をどう乗り切っていくか試行錯誤されていると思います。

昨年の7月から9月の3カ月間で5万3843人が熱中症で医療機関に搬送され、そのうち8割が高齢者だったそうです。熱中症の予防には「水分・塩分の補給」が一番重要だと言われていますが、梅干しを食べたり、味噌汁を飲むこともとても効果的だそうです。熱中症は部屋の中でも発生する恐れがありますので、無理な節電はせず、適度に扇風機やクーラーを使用して熱中症を予防しましょう。

仲野 新三郎